

お知らせ

今、だから、考える 「災害とボランティア」

講座開催します！

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。奈良県を襲った台風——
メディアから伝わる被害状況に、誰もが「自分に何ができるのか」を考え行動した
のではないのでしょうか。

その時、被災地で、被災された方々のニーズはどのようなものだったのでしょうか。
そして、被災地では、ボランティアはどう動き、どのような支援が生まれたのでし
ょうか。

阪神淡路大震災から16年。ボランティアの動きに変化はあったのでしょうか。

実際に、被災地での支援にあたられた方々のお話を伺い、今、私たちに出来るこ
とを、一緒に考えませんか。

- 日 時 平成**24**年**2**月**4**日（土） **13**時**30**分～**16**時
- と ころ 生駒市コミュニティセンター（生駒セイセイビル内）4階会議室
- 内 容
 - 13:30 講演「災害ボランティアセンターが果たす役割—人・物資・情報の拠点」
（社福）奈良県社会福祉協議会 前坂良彦さん
 - 14:30 報告「災害ボランティア活動の現場から—被災者のニーズに応えるために」
（社福）生駒市社会福祉協議会 松本道治さん
 - 「自分ができることを探して—写真修復ボランティア」
写真家 三田崇博さん
 - 「あなたの街の防災士—こんなことから始めませんか」
日本防災士会奈良県支部 植村信吉さん
 - 質疑応答・意見交換
- 定 員 100名（申込順）
- 参加費 無 料
- 申込方法 ららポート窓口、FAX、電子メール (lalaport@city.ikoma.lg.jp)、お電話にてお名前、年代、連絡先住所、電話番号、講師への質問を添えて、ららポートまでお申込みください
- 一時保育（2歳以上就学前のお子さん）
- 手話通訳
- 要約筆記
- 主 催 生駒市、（社福）生駒市社会福祉協議会



グリーンボランティア「いこま宝の里」山田武さん(66)に聞きました

大海原に向かってボートを漕ぎ出した、一人の男。右肩には釣竿とタモ網、左肩にはスキとクワを背負い、手には絵筆とパレット。お伴は愛犬ラブだ……。定年の挨拶状には、「これからこういたい自分」を、得意のイラストで描いた。それから、6年一。



現在、「グリーンボランティア『いこま宝の里』」をはじめ、「市民公益活動団体『ほたる』」、「スズムシクラブ」といった自然環境保全団体での活動や、似顔絵描きのボランティア、地域のサロンのお世話役、友人と借りている畑の世話など、転勤の末、自然の豊かさを求めて移り住んだ生駒の地で、多忙な毎日を送る。**あの時の「決意表明」が現実のものになった。**

幼い頃から山や森、そこに生きる生き物に親しみ、魅せられてきた。

生まれは、母親の郷でもある兵庫県丹波市。丹波篠山のまだ奥にある山深い地だ。3歳で東大阪市に引越すが、学校が長期の休みになるたびに田舎へ帰り、一日中、虫を追いかけ、カエルをつかみ、川で魚を釣って遊んだ。お風呂は当時、五右衛門風呂。「お湯の中にカエルを放り込むとね、熱くて飛び上がるんだよね」。一通りのいたずらは経験済みだ。

昆虫採集も大好きで、中学生の頃は、ハチを追いかけた。よく見かけるものから、一目ではハチとわからないものまで、種類がとても多い。巣の形態も違う。役割分担している生態も興味深く、夢中になった。大学時代は、ワンダーフォーゲル部に所属し、仲間と山に登る楽しみを、思う存分味わった。

絵を描くことも好きで、絵日記が得意な少年だった。定年まで数年と迫った頃、**定年後への準備をしたい、何か人を楽しませるようなことを身につけたい**と思い立った。カルチャーセンターで見つけたのは、似顔絵の教室だった。5年間通ううち、イベントの似顔絵コーナーに呼ばれたり、施設で子どもの似顔絵を描いてほしいと頼まれるようになった。

必ず相手と話しながら描く。そうするとその人の内

面が見え、絵にも反映される。また、見たままではなく、子どもなら動物に抱っこしてもらっている設定にするなど、必ずサプライズを込めた絵にする。「さあ出来たよ」と裏返したときの、**喜んでくれる顔を見るのが、何よりの楽しみだ。**

「宝の里」は、平成20年に生駒市等が主催した「里山ボランティア講座」修了生で結成された。市北部のイモ山公園内樹木の整備や、市内の小・中学校の樹木整備、地域子どもたちに向けた里山体験イベントの開催などを行っている。

ここでは、会計とイベントの企画を担当し、「ららミーティング」(次ページに関連記事があります)なる有志の集まりを呼びかけている。会議室を飛び出し、話題は、ららポートの展示スペースの内容、イベントのプログラム詳細、スキルアップのための研修受講の検討、そろそろ飲み会をとといった提案、など多岐にわたる。**考えもしなかった面白いストーリーが出てくることもある。**

「宝の里」の活動目的は、身近な森を整備し、地域の人たちが森に親しんでくれる環境を作ることだ。特に、**子どもたちを森に引き込みたい**。遠出しなないと行けない森ではなく、街なかのすぐ行ける森。そこで五感をフルに使い、思い切り遊んでほしい。土のおいをかき、木や虫に触れ、木漏れ日を感じ、何かを発見してほしい。**小さい時に自然に触れ、感性を育むことは、人間形成にとっても大切なことだ。**

活動を通じて、昔の里山の暮らしにはあった知恵を再発見している。電気も冷蔵庫もなかった時代、数々の困難を克服しながら培われてきた、生きていくための知恵。ぜひとも若い人に伝えていきたい。**楽しく学べる環境教育を生駒で行うこと。これが、これからの目標だ。**



山田武さん
ららポートにて

インタビュー：小野文代(ららポート ボランティアコーディネーター)

グリーンボランティア「いこま宝の里」の「ららミーティング」に おじゃましました!

ららポート2階の「登録団体情報発信コーナー」で、毎月ブースまるごと“生駒の里山からの宝もの”を表現するアート作品を展示している、グリーンボランティア「いこま宝の里」のみなさん。

日頃、“街なかの緑を守っていこう”と活動しておられるみなさんが、この展示について話し合うのが、その名も「ららミーティング」。各月の担当者が、その月・その季節にふさわしい展示の構想を練り、みんなの意見を取り入れて仕上げていきます。

“らら”つながりで興味津々の私たちに、「宝の里」の山田さんから「よかったらどうぞ」とお誘いいただき、見る人を和ませ、楽しませてくれる作品が生まれる様子を取材させていただきました。



自然に囲まれて

生駒の街並みを見下ろす豊かな自然に囲まれたログハウス「ケリノス ギャラリー カフェ」は、さりげなく木の実や葉っぱがインテリアに活かされ、自然を身近に感じながら、自由に意見が飛び交います。こんなリラックスできる場があるからこそ、いいアイデアが生まれるんですね!



▲絵画教室や英語教室も主宰する、アーティスト梟(くり)さん。ただいま、メンバーの思い出の詰まった展示作品でカレンダーを作ろうと企画中。写真撮影を担当しています。

ゆったりと

手作りお菓子やメンバーが持ち寄った一品など、美味しいお茶とともにいただきながらのミーティングは、サロンのような心地よさ。時間もゆったりと流れているように感じます。(思わず仕事を忘れそうでした!)



秋らしいケーキとクッキーに癒されました~



匠ぞろい

メンバーは、陶芸・クラフト・イラスト・木工・手作りおもちゃなど、それぞれ得意分野をもつ匠ぞろい!お互いを認め合って、役割分担できるのが強みです。そして何より、皆さん活動を楽しんでおられるのが伝わってきました。

▲左より、磯貝代表、石川さん、^{いちよ}一箭さん、^{おおなか}辻さん、^{はり}大中さん、金子さん、梟さん、福中さん、山田さん

12月の展示

12月の展示担当は、“木工の匠”一箭(イチヤ)さん。クリスマスをテーマに、板からトナカイや教会のパーツを糸鋸で切り出す「切り板」で作っています。

さて、実際の展示は、どうなったか!?
.....それは見てのお楽しみ!



登録団体の皆さんがそれぞれ工夫して自分たちの活動を紹介する「情報発信コーナー」をぜひ見に来てね~!



ボランティア
情報

登録団体イベント情報

生駒市精神障害者施設後援会 主催
第16回トーク&ライブひだまり2011

ひろげよう！であいの輪 こころの健康。誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、今年も開催します！

- ◆日時/12月10日(土)13時30分～15時30分
- ◆場所/コミュニティセンター文化ホール ◆内容/精神障害者のための3施設の活動紹介、吉岡紘子&箏アンサンブルぐるーぷ・いぶきコンサート「夢を紡ぐ琴の調べ」、施設利用者との楽しいセッションもあります ◆申込み/不要 ◆参加協力券/1000円 ◆問合せ/コスモールいこま TEL:0743-73-0900

登録団体イベント情報

NPO 法人いこま国際交流協会 主催
第5回 ikoryu 音楽祭

地域の絆 民族音楽 in いこま

市民手作りの国際交流・多文化共生「音楽祭」交流ひろばも充実！

- ◆日時/12月11日(日) 12時～15時30分
- ◆場所/南コミュニティセンターせせらぎホール
- ◆内容/ステージ発表：13時～14時30分、交流ひろば(ワールドカフェ、エスニックバー、活動紹介コーナー)：①12時～12時50分、②14時30分～15時30分
- ◆定員/200名(当日先着順) ◆申込み/不要
- ◆参加費/無料 ◆問合せ/「ikoryu 音楽祭」係 TEL/FAX:0743-78-6491、e-mail:info@ikoryu.net

登録団体イベント情報

ネットワークいこま・日本語の会 主催
クリスマスパーティー

外国人のスピーチを聞いたり、いろいろな国の人たちといっしょに踊ったり、自由に会話が楽しめます。サンタクロースも来ます！

- ◆日時/12月11日(日)11時30分～14時30分
- ◆場所/生駒市図書館 実習室
- ◆費用/500円(小学生以下無料)
- ◆申込み/11月30日(水)までに山崎さん e-mail:nihongo_network@kcn.jp

登録団体イベント情報

いこま榎田クラブ
西畑町榎田で大とんど

- 西畑町榎田を守る会による恒例の行事です。いこま榎田クラブもサポートしています。青竹を400本組んで燃やします。迫力がありますよ！
- ◆日時/平成24年1月9日(月・祝) 16時点火予定(雨天中止) ◆場所/西畑町の榎田 ◆内容/①大とんど ②西畑町のみなさんの物品販売 ③書き初め(とんどで燃やし、その年の幸運を祈ります)
 - ◆申込み/不要 ◆参加費/無料 ◆問合せ/いこま榎田クラブ 新居さん TEL:0743-75-4486

登録団体イベント情報

ネットワーク生駒 主催
「おもちゃかえっこかい」

おもちゃのリサイクルと、絵本のお話から、「ジェンダー*」について考えてみませんか？

- *ジェンダー：社会的・文化的な性差(男らしさ・女らしさといわれるもの)
- ◆日時/平成24年2月4日(土)おもちゃ受付：9時30分～10時、おもちゃ交換：10時～12時、絵本のお話：10時～10時30分 ◆場所/ららポート3階
 - ◆内容/使わなくなったおもちゃの交換会とジェンダーの絵本とお話 ◆対象者/小学生以下の子どもと家族 ◆参加費/1家族100円(資料代)
 - ◆申込み/往復はがき・FAX・Eメールにて 1月31日(木)までに安藤さん(生駒市喜里ヶ丘1丁目10番5号、FAX:0743-75-3426、e-mail:a.toyo333@kcn.jp)

イベントボランティア募集情報

生駒えんゆう会 主催
雪まつり2012

生駒では普段目にするのが少ない雪を会場に運び込み、子どもたちに、雪だるまやかまくら、そり遊びなど雪とふれあって楽しんでもらうイベントを開催します。

- 当日、会場スタッフとしてイベントをサポートしてくださる団体を募集！
- ◆活動日時/平成24年2月12日(日)10時～15時
 - ◆場所/高山サイエンスプラザ前広場
 - ◆活動内容/雪まつり当日の会場スタッフ、各種サポート
 - ◆問合せ/生駒えんゆう会事務局 TEL/090-4278-5408 ※生駒えんゆう会ホームページもご覧ください http://pat1.jp/en-yuu-kai/

編集後記

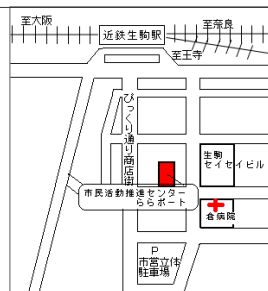
今号では、宝の里さんに多くのご協力をいただきました。生駒生まれの私、子どもの頃は家の周囲に山が迫り、野原もたくさんありました。日が暮れるまで外で土や草の汁まみれになって遊んでいたことを思い出します。大切な原風景です。大人になった今でも、緑に心癒されています<小>

■生駒市市民活動推進センター ららポート

〒630-0257 奈良県生駒市元町1丁目7番6号
TEL:0743-75-6000 FAX:0743-75-0151
e-mail:lalaport@city.ikoma.lg.jp

開館日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
休館日 日曜日・祝日・年末年始

※オストメイトトイレがあります
※公共交通機関でお越し下さい



●ららポート登録団体 57団体 [構成人数 1,907人] (11月1日現在)